

# 第13回「キッズデザイン協議会会長賞」受賞

機械式駐車場での事故から子供を守る『車の出し入れ まもるんスペース』

ポラスグループ  
株式会社 中央住宅

9月25日に開催された、「第13回キッズデザイン賞」(主催:キッズデザイン協議会)表彰式において、全受賞作品263点の中から上位賞が発表されました。ポラスグループにて分譲マンション事業を手掛ける(株)中央住宅 マインドスクエア事業部 マンション Dv(本社:埼玉県越谷市 代表取締役社長:品川 典久)が応募した、『車の出し入れ まもるんスペース』が、『キッズデザイン協議会会長賞』を受賞いたしました。なお、上位賞の受賞はポラスグループとして初となります。

＜子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン 一般部門＞  
キッズデザイン協議会会長賞



《審査評》

都市部の駐車スペース確保策として普及が著しい機械式駐車場だが、作動中の装置への侵入や接触による重大事故も発生している。安全対策ガイドラインも存在するが、荷物が多く子どもから目を離したり、設備内に留まっているのに気づかない場合のリスクは残っている。この課題に社会がより目を向け、本質的な議論と安全対策が進むことを期待する。

## ■機械式駐車場での事故から子供を守る『車の出し入れ まもるんスペース』

集合住宅等で多く見かける機械式駐車場は運転手以外の侵入が禁止されているため、子どもから一時的に離れる必要があり、目を離した際に死亡事故が発生した事例もあります。使用者はこういった重大事故を防ぐために、本来禁止されている子どもを同乗させての出入庫を繰り返している現実があり、足場の悪い機械式駐車場内において転倒などの危険も伴っていました。

ポラスグループ(株)中央住宅では、当社が供給する分譲マンションの付帯設備である「機械式駐車場での【事故や怪我】から子どもを守りたい」という想いのもと、機械式駐車場周りのウェーティングスペースを進化させ、より安全な空間を構築した『車の出し入れ まもるんスペース』を開発しました。外側から鍵をかけることで子どもが外に飛び出すことを防ぎ、機械式駐車場に出入庫させる際の安心・安全をしっかりと守ります。

ポラスグループでは、今後も子供の安全を守る製品を取り入れ、安心できる住宅の提供に努めてまいります。

